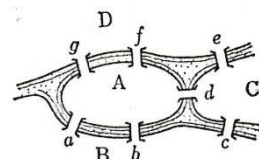


2018 年新春特別講義

高校生と社会人のための現代数学・物理学入門講座



オイラーの数学・物理学



スイスの第6次紙幣の10フラン紙幣

数学記号 Σ や e (自然対数の底)、 i (虚数) が 18 世紀の数学者オイラー (1707-1783) の考えた表記法であることは意外と知られていないようです。また、有名な数学パズル「ケーニヒスベルグの橋問題」や「オイラー方陣」などがやはりオイラーの提出した問題のように、オイラーは現代数学のさまざまな分野の基礎を作った人として知られています、その膨大な業績は整数論、位相幾何学、楕円関数、特殊函数、偏微分方程式、変分法、流体力学、解析力学、差分法、数値計算など数学のあらゆる分野にわたって貢献があります。その全集の刊行は 1911 年にはじまり今もまだ完結していないというほど膨大なものです。

今回は、オイラーの基本的な業績の重要なものを数学者、物理学者が分かりやすく講義します。

* 期日：2018 年 1 月 6 日 (土)、7 日 (日)

* 会場：東京大学小柴ホール (東京大学本郷キャンパス理学部 1 号館)

プログラム

1 月 6 日 (土) 受付 13:15

13:45~15:00 「オイラーと複素数」

上野健爾 (四日市大学 関孝和数学研究所)

15:15~16:45 「オイラーのゼータ関数をめぐって」

黒川信重 (東京工業大学名誉教授)

1 月 7 日 (日)

10:00~11:45 「多面体定理：トポロジーの出発点」

清水勇二 (国際基督教大学 教養学部)

13:30~15:30 「変分法と物理学」

小林富雄 (東京大学 名誉教授)

* 受講料：学生 (含む大学生) 無料 社会人 1000 円

* 参加資格：どなたでも参加できます (部分参加も可)

* 募集人員：約 120 名 (先着順)

* 応募方法：往復はがきに住所、氏名、学校名 (学生の場合は学年も) または勤務先および電話番号明記の上、返信はがきに自分のあて先を書いて下記までお送りください。12 月 25 日 (月) までに必着のこと。(先着順受付)

〒160-0022 新宿区新宿 2-3-16 ライオンズマンション御苑前 504 号

四日市大学関孝和数学研究所東京分室 新春特別講義係

* 問い合わせ先：四日市大学関孝和数学研究所東京分室 TEL&Fax 03-5925-8347

(宿泊の世話はできかねますのでご了承ください)

* 共催：日本数学協会・東京大学素粒子物理国際研究センター・四日市大学関孝和数学研究所